

京都社寺案内  
散策&観賞

# 京都

編

一千二百年有余の  
美術・歴史を訪ねて  
詳細なガイド・豊富な欄外解  
説により、歴史的人物・出来  
事、関連物件なども紹介。  
ワークシート付

最新版

庭園・建築・仏像・  
歴史年表・文学・  
用語集

詳細なガイド・豊富な欄外解説により、歴史的人物・出来事、関連物件なども紹介

# 目次

扉	1
序にかえて	2
目次	4
京都市広域図	6
洛中・洛東(御所・西陣・東寺・京都駅・ 四条、哲学の道、五条坂・東福寺)	7
洛北(大原、宝ヶ池・岩倉、延暦寺、上賀 茂・鷹峯、修学院)	8

## 洛中 11~31 地図:6-7左

ぶらり 洛中	11
東寺	12
五重塔 空海(弘法大師)	12
平安京	13
寺宝「両界曼荼羅」講堂内諸尊配置図	14
風信帖 弘法さん	15
西本願寺	16
京都鉄道博物館	16
京都駅ビル	17
京都タワー 京都水族館	17
東本願寺	18
涉成園 親鸞	18
壬生寺	19
近藤勇 織田信長 新選組壬生屯所旧 跡(八木家邸 旧前川邸)	19
本能寺	19

## 洛東 32~54 地図:6-7右

ぶらり 洛東	32
東福寺	33
退耕庵 芬陀院 同聚院 光明院 天得院 雲雲院 龍吟庵 重森三玲	34
泉涌寺	35
雲龍院 来迎院 即成院 戒光寺	35
三十三間堂(蓮華王院)	36
後白河天皇(法皇)	36
養源院	37
法住寺	37
智積院	37
京都国立博物館	38
豊国神社	38
耳塚 方広寺	38
地主神社	39
八坂の塔(法観寺)	39
産寧坂伝統的建造物群保存地区	39
清水寺	40
坂上田村麻呂 随求堂胎内めぐり 成就院 忠僕茶屋と舌切茶屋 清水寺七不思議	41
六波羅蜜寺	42

洛西(金閣寺・御室・嵐山・嵯峨野・松尾・ 苔寺、高雄)	9
洛南・醍醐・宇治(伏見桃山、伏見稲荷、 醍醐・小野、宇治)	10
庭園初歩入門	96
観賞の手引き	97
仏像初歩入門	100
仏像の図と各部名称	102
屋根の形式・神社建築の種類	103
京都関係年表	104

歩いて楽しい烏丸〜河原町周辺	
繁華街エリア	20
京都府京都文化博物館	22
京都国際マンガミュージアム	22
島津製作所 創業記念資料館	22
高瀬川一之船入	22
相国寺	23
新島旧邸 承天閣美術館	23
御所・離宮	
京都御苑・京都御所	24
盧山寺 ギルドハウス京菓子 京都市歴史資料館	24
修学院離宮	24
桂離宮	24
京都御所・離宮等参観申込要領概要	25

空也	42
建仁寺	42
両足院	43
安井金毘羅宮 六道珍皇寺	42
霊山歴史館	43
京都霊山護国神社	43
坂本龍馬 中岡慎太郎 桂小五郎(木戸孝允)	43
高台寺	44
ねねの道 高台寺「掌」美術館 圓徳院 ねね(北政所) 豊臣秀吉	44
八坂神社	45
祇園祭	45
円山公園	45
長楽寺	45
祇園新橋伝統的建造物群保存地区	46
知恩院	46
知恩院七不思議	46
法然	47
青蓮院	48
將軍塚青龍殿(大日堂)	48
京都国立近代美術館・ 京都市京セラ美術館	48

テーマ別物件ガイド	107
主な年中行事	112
社寺・文化施設一覧	114
京都市人気観光物件タクシー所要分	125
主な索引	127

【記入用 ワークシート】	
ワークシート(バス・電車)	122
ワークシート(タクシー)	124
フリースペース	126

詳細な京都の文学はユニプラン HP  
に掲載しています(PDF ファイル)

下鴨神社	26
葵祭	26
西陣織会館	26
茶道資料館	26
樂美術館	26
清明神社	27
安倍晴明 白峯神宮	27
大報恩寺(千本釈迦堂)	27
引接寺(千本えんま堂)	27
北野天満宮	28
菅原道真 お土居	28
京都市平安京創生館	29
京都市考古資料館	29
二条城	30
徳川家康 徳川慶喜	30
神泉苑 二条陣屋	31

岡崎公園 みやこめつせ(京都市勧業館)	
京都伝統産業ミュージアム	
日図デザイン博物館	48
平安神宮	49
桓武天皇 時代祭	49
南禅寺	50
水路閣 南禅院 金地院 天授庵	50
琵琶湖疏水と蹴上インクライン	51
琵琶湖疏水記念館	51
無鄰菴	51
小堀遠州 野村美術館	51
永観堂	52
永観堂のその他の寺宝 泉屋博古館	52
京都大学総合博物館	52
ノーベル賞と京都大学	52
哲学の道	53
安楽寺 法然院	53
金戒光明寺(黒谷さん)	53
真如堂(真正極楽寺)	53
銀閣寺(慈照寺)	54
五山送り火 白沙村荘(橋本関雪記念館)	54

## 洛北 55~66 地図:6-8

ぶらり 洛北	55
詩仙堂	56
金福寺	56
曼殊院	57
圓光寺	57
蓮華寺	57
円通寺	58
宝ヶ池 国立京都国際会館	58
実相院	58
岩倉具視幽棲旧宅 岩倉具視	58
三千院	59

## 洛西 67~85 地図:6-9

ぶらり 洛西	67
金閣寺	68
足利義満	68
北山文化と東山文化	69
等持院	69
立命館大学国際平和ミュージアム	69
京都府立堂本印象美術館	69
妙心寺	70
紫衣事件 明智風呂	70
退蔵院 桂春院 大心院 東林院 大法院 麟祥院 大雄院	71
龍安寺	72
吾唯足知のつくばい	72
仁和寺	73
御室桜	73
法金剛院	74
吉田兼好 法金剛院庭園	74
東映太秦映画村	74
広隆寺	75

## 洛南 86~95 地図:6-10

ぶらり 洛南・醍醐・宇治	86
伏見稲荷大社	87
石峰寺	87
藤森神社	87
御香宮	88
寺田屋	88
月桂冠大倉記念館	88
十石舟 長建寺	88
城南宮	88

宝泉院 勝林院	59
実光院 来迎院	60
寂光院	60
建礼門院 大原女まつり	60
延暦寺	61
最澄(伝教大師) ガーデンミュージアム比叡	61
鞍馬寺	62
鞍馬の火祭り 源義経	62
貴船神社	62
上賀茂神社	63
大田神社 高麗美術館	63

秦河勝	75
蚕の社	76
嵐山	77
鹿王院 車折神社	76
天龍寺	77
弘源寺 宝厳院	77
野宮神社	77
ジオラマ京都 JAPAN	78
大河内山荘	78
落柿舎	78
常寂光寺	78
嵯峨嵐山文華館	78
保津川の渓谷美を楽しむ	78
二尊院	79
祇王寺	79
滝口寺 嵯峨野・奥嵯峨散策	79
化野念仏寺	80
千灯供養	80
嵯峨鳥居本伝統的建造物保存地区 京都市嵯峨鳥居本町並み保存館	80

鳥羽離宮跡	88
勸修寺	89
随心院	89
小野小町 はねず踊り	89
醍醐寺	90
下醍醐 三宝院	90
醍醐の花見 上醍醐	91
法界寺(日野薬師)	92
裸踊り 親鸞と日野家	92

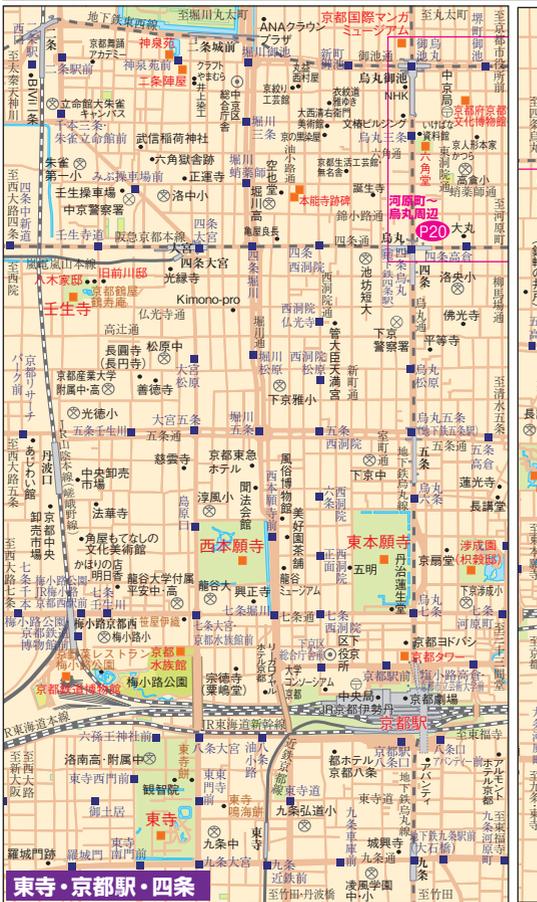
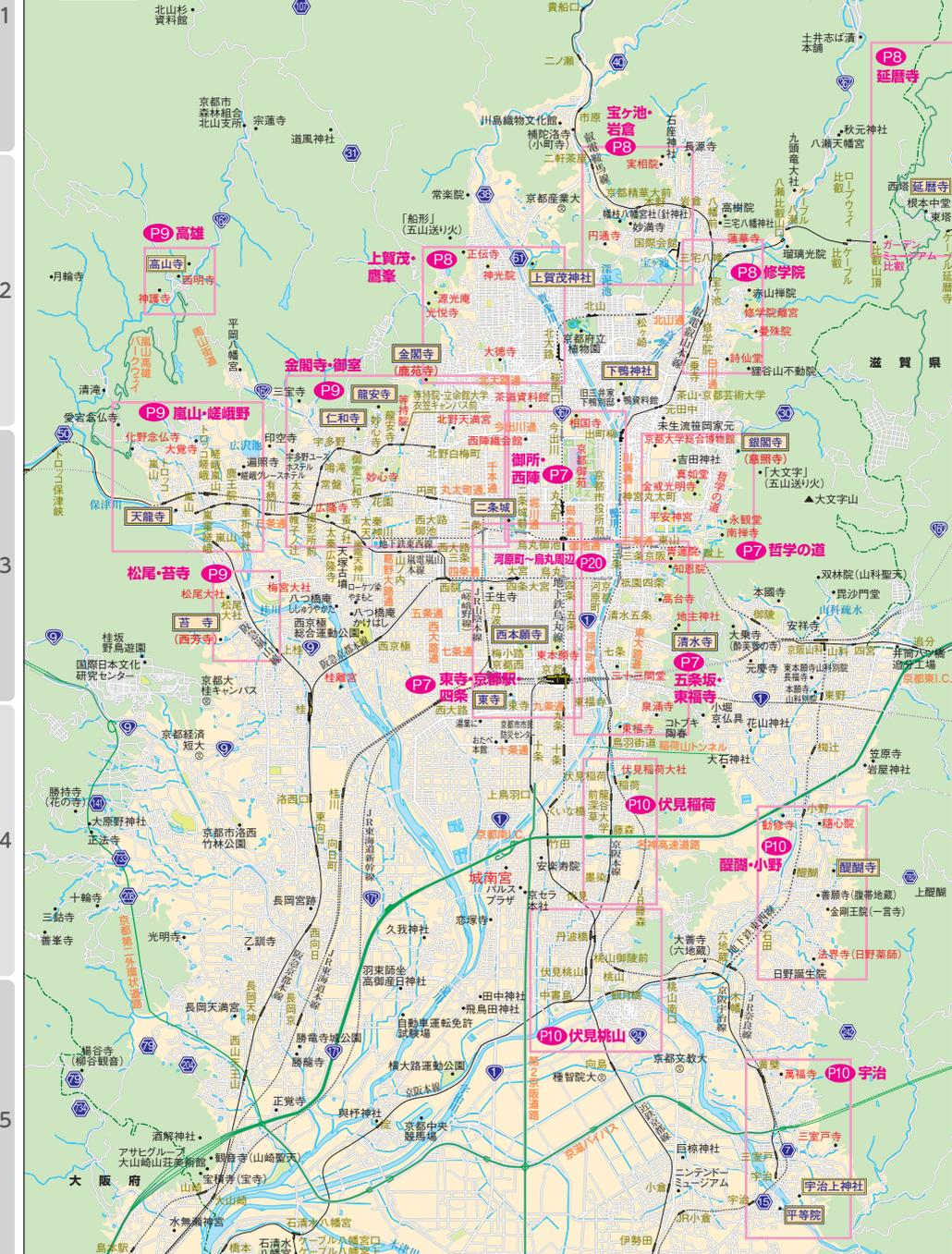
上賀茂伝統的建造物群保存地区	63
大徳寺	64
大仙院 高桐院 龍源院	64
真珠庵 総見院 瑞峯院 黄梅院 芳春院	65
千利休 一休(宗純)	65
今宮神社	65
光悦寺	66
光源庵	66
常照寺	66
正伝寺 神光院	66

愛宕念仏寺	80
清凉寺(嵯峨釈迦堂)	81
宝篋院 厭離庵 愛宕山鉄道 千日詣り	81
大覚寺	82
大沢池 広沢池	82
法輪寺(嵯峨虚空蔵)	82
嵐山モンキーパークいわたやま	82
松尾大社	83
梅宮大社	83
華厳寺(鈴虫寺)	83
地藏院(竹の寺)	83
苔寺(西芳寺)	84
神護寺	84
和気清麻呂	84
源頼朝	85
西明寺	85
桂昌院	85
高山寺	85
鳥羽僧正(覚猶)	85

萬福寺	93
宝蔵院 普茶料理	93
三室戸寺	93
宇治上神社	94
宇治橋・宇治合戦	94
宇治市源氏物語ミュージアム	94
紫式部	94
平等院	95
宇治川の鶴飼	95

# 京都市広域図

名称  
世界文化遺産



京都鉄道博物館 7A5 115  
七条通を西へ、JRの高架に沿っていくと京都鉄道博物館が見えてくる。新幹線や在来線車両のほか、蒸気機関車など54両を展示する新たな鉄道の博物館だ。なかでも扇型車庫にすわりと並ぶSL20両は見物で、実際にSLが牽引する客車に乗車できる「SL スチーム号」には、歴史とともに新鮮な驚きを感じるだろう。このほか、夢の超特急0系新幹線電車や2015年引退したトワイライトエクスプレス車両など、鉄道好きにはたまらない展示が多い。3階建ての本館では鉄道の歴史や仕組みを学べるほか、スカイテラスからは京都の町並みとともに走行する列車も眺めることができる。

同館は梅小路蒸気機関車館を前身としている。



エントランス

本館1階展示

SLスチーム号

## 桃山文化を代表する建造物や庭園

### にしほんがんに 西本願寺 7A4 119

世界文化遺産

浄土真宗は、13世紀親鸞によって拓かれて、日本の民衆のふところ深く住みついた信仰となった。西本願寺は、その本拠地である。最初は親鸞聖人の木像を祀った小堂だったが、だんだん勢力を得るようになり、他の宗派と争う力を獲得し、ついには、織田信長と一戦を交える(石山合戦という)ほどになった。そのたびに転変をくりかえし、この堀川通に寺郭を構えるようになったのは、天正19年(1591)、豊臣秀吉の寄進を得てからである。

江戸時代のはじめ、後継者をめぐる内紛から分裂して、東西両本願寺ができた。その後、近世・近代を通じて真宗信仰は民衆の心のひだに浸透していったが、その背後にはやはり激しい歴史があったのだ。

西本願寺のなかで、まず重要なのは、親鸞聖人を茶毘に付した灰を漆にまぜて塗ったという親鸞坐像をまつる御影堂(国宝)である。建物は江戸初期に再建されたものだが、雄壮で豊かな建物である。

御影堂をまんなかに、北側に阿弥陀堂(本堂)(国宝)。これも江戸中期再建の堂々とした建物。御影堂の南に虎の間、太鼓の間、浪の間など、桃山時代の様式を残す建物がつぎ、書院へと連なる。それらは典型的な桃山建築の豪壮さをみせており、書院造<sup>46</sup>としても、現存する建物のなかでは最大の規模をもつ。これらは、かつては、伏見城の遺構を移したものとわかれていた。令和4年(2022)に内陣の修復工事が完了し、宮殿や格天井などが往時の輝きを取り戻した。

黒書院及び伝廊(国宝)は非公開だが、対面所(国宝)は、203畳敷の大広間で、ここで門主が門徒と会う。この対面所の内部を二分するところに雲中飛鴻の欄間<sup>103</sup>が透彫<sup>56</sup>で飾られ、壁には中国の故事を描いた貼付絵や、松と紅梅の豪華な襖絵などが部屋を飾っている。

白書院(国宝)は対面所の後方にある。内部は三つに仕切られ、それぞれの欄間は対面所同様透彫の豪華なもので、障壁画<sup>50</sup>が部屋を飾っている。白書院につづく、装束の間、菊の間、雁の間等々、それぞれの部屋に狩野派

の金地濃彩の障壁画が飾られている。筆者は、狩野探幽や海北友松、あるいは渡辺元慶など、いろいろ伝えられているが、いずれにしろ、当時から京都で技を誇っていた狩野派の画人の手になったことは間違いのないところだ。(書院拝観は通常非公開)

対面所の東側には、大書院枯山水庭園<sup>10</sup>「虎溪の庭」(特別名勝・非公開)がある。これは、石と蘇鉄の木の組合せの複雑な庭だ。これも桃山期の人びとの庭感覚をよく伝えている。

白書院の北にある能舞台は、北



西本願寺唐門

能舞台(国宝)(非公開)と呼ばれ、日本の能舞台としては最古のスタイルを伝えている。天正9年(1581)建立と墨で書かれている。

飛雲閣(国宝)(非公開)は、また桃山時代の支配者たちの美意識を如実に伝える遺構である。三層からなり、初層が入母屋造、中層が寄棟、上層が宝形造<sup>84</sup>というこみ入った形が豪華に調和している。かつて豊臣秀吉の邸宅だった聚楽第からここへ移したものだという。豊臣の勢力が失墜したとき、大邸宅聚楽第は影もなく取り壊され、一部が、飛雲閣や大徳寺の唐門などに移築されたのだ。

土生から西本願寺北集会所に屯所本拠を置いた新選組が寝泊りしたという太鼓楼が当時のままの姿をとどめている。

### 国際文化観光都市京都の玄関口

#### 京都駅ビル 7B5

平成9年(1997)開業の4代目新駅は、建築家原広司氏の設計で、高さ59.8m、東西の長さ470m、延べ面積238,000㎡と、駅ビル施設としては全国最大級の複合施設。駅施設、ホテル、百貨店、文化施設、専門店街、駐車場などが一同に集まり、交通拠点としてだけでなく、人々が集い楽しめる巨大空間。JR西日本、JR東海道新幹線、近鉄京都線、市営地下鉄烏丸線の駅としての乗降、買物等の利用客は1日平均59万人といわれている。近未来を思わせるガラス張りの表面と、内部の高い吹き抜け。大階段を登って大空広場や空中径路から眺める景色は一見の価値あり。他にも南北自由通路や南遊歩道、南広場、東広場、室町小路広場、烏丸小路広場があって、駅ビル全体で憩いのひとときを楽しめる。171段の大階段ではイベントも開催され、今では修学旅行生や観光客の写真スポットとなっている。京都ポルタ、コトチカ京都はともに、「ファッション、京みやげ・京名菓、レストラン・飲食」と、取り揃えた専門店街。駅ビル10Fの京都拉麺小路は、多くの全国名店ラーメンと、喫茶の店があり、行列ができるの人気ぶり(11時~22時)。その他、ジェイアール京都伊勢丹、美術館「えき」KYOTO、ホテルグランヴィア京都などがある。平成28年(2016)北口広場には、平安京の玄関口羅城門の復元模型(10分の1)が設置された。



京都タワー 7B5 115

昭和39年(1964)に旧中央郵便局の跡地に建てられ、現在では東寺の五重塔と並ぶランドマークとして観光客に親しまれている。独特の塔の形は灯台をかたどったもので、高さ131m。地上100mの展望室は四季折々の京の町のパノラマが楽しめるビューポイントとしても人気がある。



京都水族館 7A5 115

内陸型の水族館としては国内最大級規模で、館内はオオサンショウウオなどを展示する「京の川ゾーン」や「イルカスタジアム」、小さな生き物が暮らす棚田を再現した「京の里山ゾーン」、2020年にできた「クラゲワンダー」など10エリアに分かれている。全ゾーンを巡るには2時間程度が必要。



大階段



京都駅ビル

京野菜レストラン 梅小路公園 7A5 四季の彩りに包まれた庭園レストラン 遷都1200年を記念して造られた梅小路公園内「緑の館」1Fにあって、ガラス張りの窓から朱雀庭園を眺めながらの食事が楽しめる。新鮮な京野菜を使ったメニューがおすすめ。



世界最大級の木造建築  
東本願寺 7B4 120

本願寺が後継者問題のもつれから二つに分裂したのは、慶長7年(1602)。徳川家康は、旧来の本願寺の東側に寺地を与え、秀吉によって隠退を強いられていた教如上人を門主とする大谷派本願寺が誕生した。本願寺が京に確立してわずか10年目のことである。

こうして、全国の本願寺系の末寺・門徒は二分され、それ以来、西は「本願寺派」、東は「大谷派」と俗称されている。

現在の建物は明治28年(1895)再建されたものだが、東本願寺は、火事などによってなんども焼け、創建時の遺構は残っていない。

御影堂門(大門とも呼ばれ、大きな楼門である)をくぐると、修復成った、巨大な御影堂が前方をおおうように建っている。奈良東大寺の大仏殿(高さ47.5m、南北50.5m、東西57m)と並ぶ大きさで広さ(高さ38m、南北76m、東西58m)をもった世界最大級の木造建築である。その927畳大広間の奥に、聖人木像を中心に、本願寺歴代上人の画像が配列されている。

御影堂が明治28年に落成するまで15年間を要したが、工事を推進させるため、女性の信徒たちは自分の髪を切り、材木を引く大綱を毛髪でつくらせたという。「毛綱」といわれ、その一部が、展示されている。本堂には阿弥陀仏が祀られていて、阿弥陀堂ともいわれる。大師堂と廊下で繋がっており、「毛綱」や、これらの堂を建てたときの道具が、その廊下に展示されている。

本堂東南にある鐘楼の中の鐘は、慶長9年(1604)の銘をもち、創建時の鐘であることが分かる。

「報恩講」最終日には体を揺り動かしながら念仏を唱和する坂東曲は、あまりに有名である。

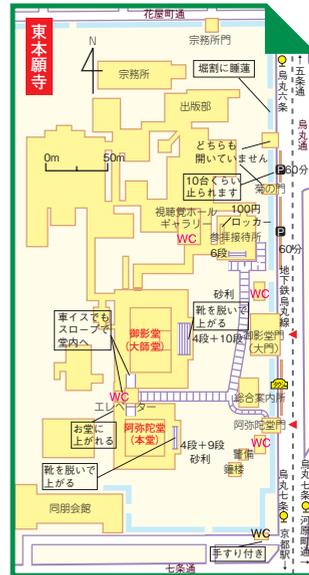
東本願寺から烏丸通を渡って東へ5分の飛地境内地、かつて東本願寺13世宣如上人の隠退所だった別邸・涉成園(P117)がある。一般に「積殻邸」の名で親しまれているが、昔は生垣に枳殻がいっぱい植えこまれていたのだという。広々とした、貴族的な趣味の書院式回遊庭園である。上人の願いによって石川丈山が作庭したという。建物は新しく変わったが、池や石組は昔の姿を残しており、印月池から侵雪橋、縮遠亭を望む景観をはじめ、庭園内に咲く桜、楓、藤などが四季折々の景趣を富ませている。



親鸞(1173~1262)  
鎌倉初期の僧で浄土真宗の開祖。京都生まれで日野氏一族・有範の子という(異説もある)。9歳で慈円のもとで出家し、比叡山で学ぶ。のち法然の門弟となり、専修念仏に入る。法然の流罪(承元の法難)に連座、越後に流され(越後において恵信尼と結婚、子をもうける)、のち常陸に移住し、20年間布教。晩年京都に帰り、「教行信証」(国宝)などを著述。浄土真宗寺院では、御影堂に「親鸞像」を祀り、命日には親鸞を偲んで「報恩講」が営まれる。



涉成園



壬生狂言と新選組  
壬生寺 7A4 120

4月21日から1週間にわたって行われる壬生狂言で有名な寺院。鎌倉末に当寺を中興した円覚上人が、融通念仏を広めるため境内で猿楽を催したことに始まるといわれ、本尊<sup>20</sup>の地藏菩薩<sup>27</sup>に因む演目も少なくない。

演じられる所は大念佛堂の2階部分。壬生寺境内東方にある池の中の島は、壬生塚と呼ばれ、幕末の新選組隊士の墓などがある。局長近藤勇・副局長土方歳三の胸像と遺髪塔、新選組屯所で暗殺された芹沢鴨と平山五郎の墓、勘定方・河合春三郎の墓の他、隊士7名の合祀墓がある。その合祀墓には池田屋事件で亡くなった奥沢栄助、安藤早太郎、新田革左衛門らも葬られている。かつて壬生寺境内は新選組の兵法訓練場に使用され、武芸や大砲の訓練が行われたという。平成16年(2004)より、「歴史資料室」がオープン。新選組関連の文書や壬生狂言で使われる仮面、平安時代後期の作とされる薬師如来<sup>36</sup>像、孝明天皇から贈られた本尊厨子戸帳などが見られる。東門前の坊城通には、新選組屯所跡の八木家邸、旧前川邸が今もそのままに残り、公開されている。

【新選組壬生屯所跡(八木家邸)】(P117) 浪士隊として江戸からきた芹沢鴨らが住まいとした八木家の離れ座敷。現在は15代当主が「京都鶴屋鶴寿庵」という和菓子店を営み、隣の屋敷を一般公開している。

【新選組壬生屯所(旧前川邸)】ここに近藤勇、土方歳三、沖田総司ら試衛館一派が宿泊した。土・休日など、母屋玄関までは公開している場合もある。通りに面した長屋門など当時の面影を残している。

「本能寺の変」で伐たれた織田信長を祀る  
本能寺 21 120

御池通からアーケードで覆われた寺町通に入るとすぐに左手に大きな本能寺の門が見えてくる。織田信長が家臣明智光秀の謀反により命を落とした「本能寺の変」はあまりにも有名で誰もが思い浮かべることだろう。しかし当時の場所はここではなかった。

歴史は古く、室町時代創建の法華宗寺院本応寺がその前身という。京都における法華宗の隆盛と衰退にともない寺地を変遷することとなり、天文5年(1536)比叡山との抗争(天文法華の乱)の際は堺に逃れた。

天文16~17年(1547~1548)頃、ようやく京に戻り、日承上人の入室により西洞院蛸薬師付近に広大な寺地を得た。その後、日承上人に帰依した織田信長により京都宿所の一つとして、堀や石垣を備えた城塞のように改築される。これが「本能寺の変」の舞台となった。戦火で堂宇は消失し、現在その場所には堀川高等学校本能寺学舎が建つ。西側と北東角に石碑が建っている。

本能寺はその後豊臣秀吉による京の区画整理に伴い、現在の地に移された。境内には織田信長を祀る廟所や供養塔、ゆかりの宝物を展示する大寶殿宝物館、昭和3年(1928)再建の本堂などがある。

京都鶴屋鶴寿庵 7A3 人氣沸騰の屯所餅 新選組の壬生屯所遺跡八木家に隣接する京都鶴屋鶴寿庵は八木家の子孫が営む和菓子屋。京野菜の壬生菜を刻み入れた餅で丹波の大納言の粒餡をぐるんだ屯所餅が名物だ。ほかにも新選組にちなんだ和菓子がそろる。八木家見学は屯所餅と抹茶付き。

壬生塚の近藤勇胸像



近藤勇(1834~1868)  
幕末期の武蔵国多摩の農家に生まれる。天然理心流試衛館入門、のち同流宗家となる。14代將軍・徳川家茂の上洛警護をする「浪士隊」に加わり入京、壬生の八木源之丞宅に止宿。京都守護職配下の新選組局長として、尊皇攘夷派の志士の取締りにあたる。三条木屋町西入ル北側の「池田屋騒動」では、襲撃の先頭に立つ。「鳥羽・伏見の戦い」で敗れた後は、江戸へ帰り、政府軍と戦ったが、下総流山で降伏。斬首され京都・三条河原で晒された。



織田信長(1534~1582)  
戦国期の武将、大名。今川義元を桶狭間で破り、尾張、美濃で勢力を拡大した。足利義昭を奉じて入京し義昭を室町幕府最後の第15代將軍職にするが、後に追放する。以後は天下布武を推し進め、浅井氏、朝倉氏、武田氏など有力な大名を次々と滅ぼし、近畿をほぼ統一した。中国地方へ出陣のため上洛した際、宿泊先の本能寺を家臣の明智光秀に襲撃され自刃する。  
比叡山や上京の町を焼き討ちするなどタブーを恐れない残虐な面もあるが、文化・武芸に造詣が深く、家臣を能力主義で取立て、「楽市楽座」、「檢地」などの政策を採用するなど先進性もあり、その人物像には様々な解釈がなされる。

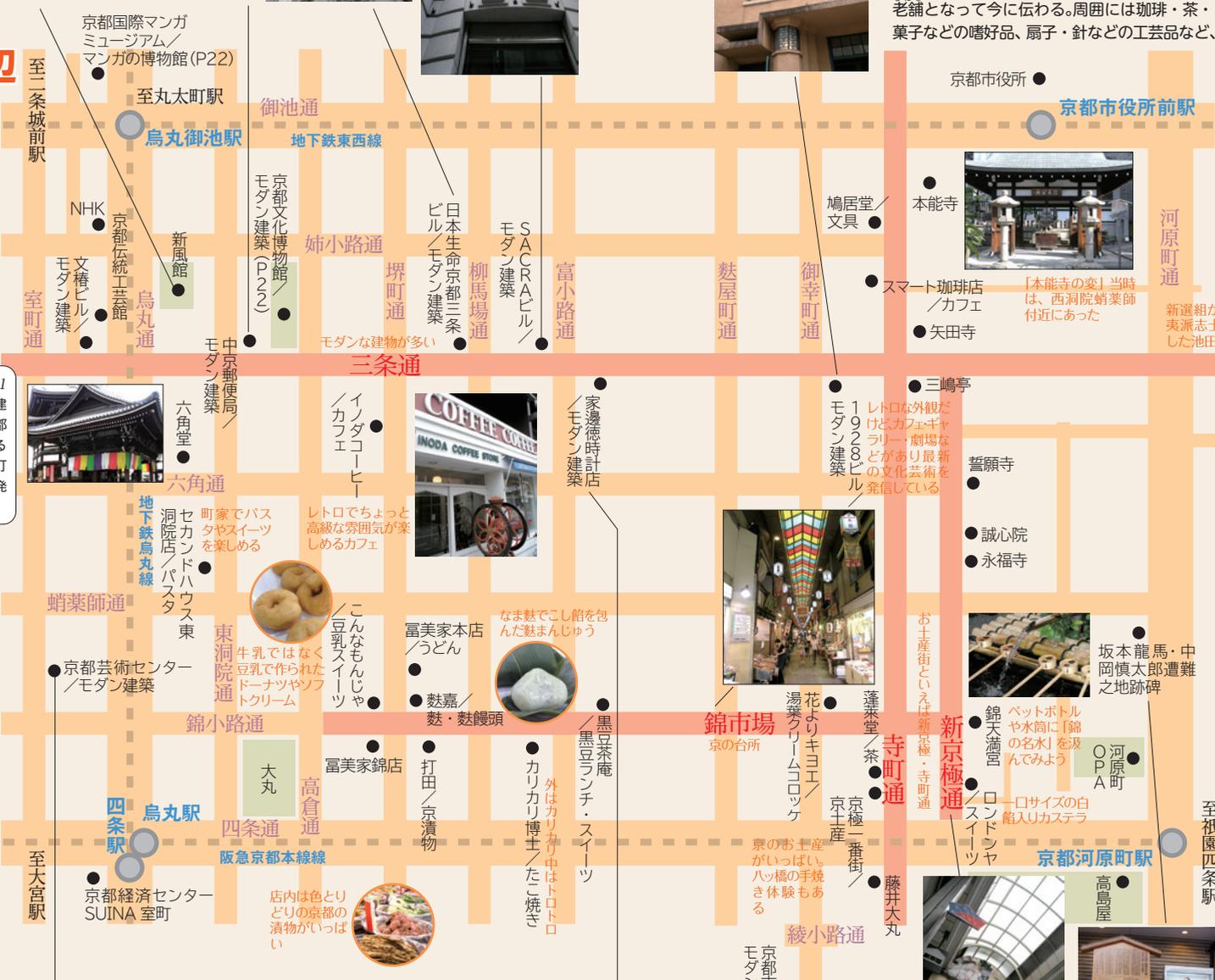


# 歩いて楽しい 烏丸～河原町周辺 繁華街エリア

京都で繁華街といえば、河原町通・烏丸通・御池通・四条通に囲まれたおよそ1km四方のエリアとその周辺が、まず思い浮かぶ。  
三条通りは、京の七口と呼ばれた都の出入り口の1つ・粟田口に繋がる交通の要所だった。鴨川に架かる三条大橋は東海道五十三次の終点でもあり、西のたもとには弥次さん

京都伝統工芸館  
京都が誇る伝統工芸にふれられる。巨匠や新進気鋭の若手の作品が展示されている。職人の実演も見学可能。  
六角堂（頂法寺）121  
平安時代以前の創建ともされる古刹。京都の中心とも言われるへそ石や巨大な提灯が目を引く。生け花発祥の地でもある。

ん喜多さんの像もある。豊臣秀吉の時代にもこの橋はあったとされ、これまで何度となく架け替えられてきたが、欄干の擬宝珠の中には秀吉の頃以来の逸品もあるという。  
周囲は古くから交通・経済の要所であったらしく、幕末・明治の頃には各藩の藩邸が集まり、相当な賑わいであったという。いきおい、桂小五郎・坂本龍馬をはじめとする当時の重要人物にまつわる石碑や旧跡が多数伝わっている。有名な池田屋騒動もこの通り沿いで起きた。  
太平洋戦争で空襲の被害が少なかった京都には、戦争以前の建物が相当数残っている。昔ながらの知恵を生かした町家も、江戸時代から現役ということすらある。当然、明治・大正・昭和のモダンな建築物も非常に多い。どの建物も現代とは異なる当時の最先端のセンスを随所に散りばめていて、散策の目を楽しませてくれる。建築当時から業務を継続しているもの、別の商業施設に転用されているものなど、幾つかのバ



元明倫小学校を改装した、ギャラリー・制作室・図書館・情報コーナー・カフェなどを備えた文化芸術活動のための施設。



京都市立歴史博物館

ターンはあり、外観だけでなく内観を楽しめることもある。  
長く商業や政治の重要地点であったということは、その時々々の最先端・最上質の商いが集まっていたともいえる。それらは時代を経て老舗となって今に伝わる。周囲には珈琲・茶・菓子などの嗜好品、扇子・針などの工芸品など、

探し出すとキリが無いほどの分野の名店がある。ちょっと見ただけでは古めかしいかもしれない店舗には、当時の最先端を突っ走った心意気が潜んでいる。  
このエリアの観光として外せないのが、京の台所・錦市場。「ここならでは」の品に溢れて



新選組が尊王攘夷派志士を襲撃した池田屋の跡

三条大橋



坂本龍馬が身を寄せたという材木商「酢屋」

いる魅力的な市場で、390mと比較的短いアーケードには120～130軒程の店舗が並ぶ。活気あふれる店先には、見慣れた食材から聞いたこともない何かまでが並べられ、観光客の目と鼻、そして好奇心をそそってやまない。食材だけかと思えば、玉子焼などのお惣菜もあちこちで見かけ、一流料亭顔負けな味を無造作に売り出している。近年、京都ならではの食材をイートイン・食べ歩きできる店舗も増えてきているが、食料品店だけでなく日用雑貨を扱う店舗も多い。休日や夕方には非常に混み合う。  
宗教都市・京都らしく、このエリアにも多くの社寺がある。誰もが知っている有名社寺はもちろんだが、全く聞いたことが無いお寺でも通りがかりに気軽に「お参りしてみよう。実はビックリする様な講義がある名刹だったり、一目見るべき名物があるなどという具合で、まさに散策の醍醐味だ。ただし、拝観不可の社寺もあるので注意。  
平安時代以来の神社仏閣とここ数年でオープンしたファッションビルが軒を並べ、一大繁華街のすぐ側には時代を経た住居が行んでいる。このエリアを歩いていると数百年前は、「たった」数百年前にしか過ぎないことが実感されてやまない。

京都市役所 ● 京都市役所前駅



「本能寺の変」当時は、西洞院蛸薬師付近にあった

三嶋亭



誠心院 ● 永福寺



錦市場 京の台所



新京極通



二人が非業の最期を遂げた近江屋跡に立つ石碑と案内

三室戸寺三重塔



三室戸寺本堂



とごとく燃えてしまった。その後またびたびの兵火に遭い、現在の本堂は、文化11年(1814)の再建である。堂内には、清涼寺式<sup>59</sup>の釈迦如来<sup>74</sup>像や阿弥陀如来像などが安置されている。境内にある三重塔はこの寺のシンボルである。宝物殿は、毎月17日のみ公開。16,529㎡・5,000坪の大庭園は枯山水・池泉・広庭からなり、春のし

だれ梅、桜、4月下旬～5月上旬頃のツツジ(20,000株)、6月～7月上旬のアジサイ(約50種・20,000株)、7月上旬～8月中旬のハス(約100種・250鉢)、秋の紅葉・秋明菊など四季を通じ美しい花模様を楽しめる。

### 神社建築では日本最古

宇治上神社 10D5 114 世界文化遺産

宇治川東岸の山裾には、神社建築では、平安時代の後期に造営された日本最古という本殿(国宝)を持つ宇治上神社がある。藤原氏により平等院が建立されるとその鎮守社となり、興隆を極めたという。鎌倉時代の初めに建てられた拝殿(国宝)は、覆殿造<sup>54</sup>風の住宅建築で、屋根の美しさはまた格別。本殿(国宝)は平安時代の建築で、一間社流造りの内殿三棟からなり、一列に並び共通の檜皮葺<sup>81</sup>の屋根で覆われている。境内の「桐原水」は宇治七名水最後のひとつという。



### 源氏物語の世界を実体験

宇治市源氏物語ミュージアム 10D5 114

「源氏物語」の後半部の十帖は宇治が舞台。その世界を再現したのがこのミュージアム。光源氏の時代をイメージした平安の間の源氏が過ごした六条院の百分の一の縮小模型や実物大の牛車と、「宇治十帖」の世界を再現した宇治の間はおすすめ。映像展示室では、宇治十帖を主題とした映像が上映されている。宇治の実写や幻想的なCGによる美しい映像が楽しみ、英語・韓国語・中国語の各言語音声にも対応している。入口から向かって左側は無料コーナーで、図書室前の「源氏物語に親しむコーナー」ではコンピューターを使ったゲームやクイズなどで楽しみながら源氏物語により親しむこともできる。年4～5回企画展も開かれている。その他、喫茶コーナーやグッズショップもあり、宇治十帖古跡巡りやさわらびの道の散策の折でも。



宇治橋・宇治合戦

寿永3年(1184)源義経軍と、後白河法皇を幽閉して京の覇権を握った木曾義仲軍は、宇治橋上流において宇治川をはさんで対峙した。ここで有名な佐々木高綱と梶原景季の「宇治川先陣争い」が繰り広げられる。現在、宇治橋上流に浮かぶ橋島の中程に、宇治川先陣の碑が立つ。周囲は宇治公園として整備され、市民の憩いの場となっているが、脇を流れる宇治川の水勢は、往時の戦いを未だ彷彿とさせてくれる。



紫式部(生没年不詳)

平安中期の女流作家・歌人で「源氏物語」を著す。役人・漢学者の藤原為時の娘。幼少の頃から才女としての逸話が多い。夫の親子ほど年の差がある山城守藤原實季と死別後、第66代一条天皇の中宮・彰子(藤原道長の長女)に仕えた。「紫式部日記」、自撰と思われる家集「紫式部集」の著もある。

### あの鳳凰堂と国宝仏像

平等院 10C5 120 世界文化遺産 藤・4月下旬～

飛鳥時代のころより、宇治は、奈良と京都を結ぶ交通の要路となっていた。平安遷都ののちは、天皇や貴族の別荘がこの地に建てられ、「源氏物語」の舞台にもなった。

かつて宇治院といわれた別荘が、いろいろな手を経て、永承7年(1052)、関白・藤原道長の長男・頼通によって寺院に改められた。それが平等院である。

翌、天喜元年(1053)、鳳凰堂(阿弥陀堂)(国宝)に仏師・定朝によって丈六<sup>52</sup>の阿弥陀如来坐像(国宝)がつくられ、その落慶供養がとり行われた。この鳳凰堂と阿弥陀如来像は、今もその頃のままでの姿をとどめている。

鳳凰堂という名前は、左右に鳥が羽根をひろげたような翼廊がついており、その姿が鳳凰を連想させること、また、中堂の屋根の上に対の鳳凰(国宝)が飾られていることからつけられた。

平等院という名前は、中堂を中心に左右平等に翼廊があるところからきている。

鳳凰堂は単層、入母屋造、本瓦葺<sup>88</sup>。翼廊は切妻造<sup>16</sup>である。鳳凰堂の前に阿字池と呼ばれる池があり、池面には鳳凰堂の姿が映る。阿字池を隔てて鳳凰堂をのぞむと、中堂正面、裳階<sup>95</sup>が一段高く上っているところに格子戸がはめられている。その格子戸の上方に丸窓が開いており、そこから阿弥陀如来の顔が見える。昭和26年(1951)から10円硬貨デザインにも選ばれている。

この阿弥陀如来坐像は、藤原時代屈指の仏師・定朝の作として唯一確証ある像である。彼は、それまで一木造しか伝えられていなかった造仏法に、寄木造<sup>98</sup>をみだした人だ。その後、柔和な表情の和様彫刻・定朝様式が全盛期を迎える。この阿弥陀像は、寄木、漆箔<sup>37</sup>、手は定印を結ぶ。螺髪<sup>102</sup>は細かく、伏せ目がちで優美な面立ち。肩が無で肩なものこの期の特徴である。金色に輝く大きな光背<sup>25</sup>は、大日如来を中心に、十二の化仏<sup>21</sup>が配されている。天蓋<sup>68</sup>(国宝)は、宝相華<sup>86</sup>文が透彫り<sup>56</sup>され、中央に銅製の八花鏡を備えた円形天蓋と、飛鳥時代から伝わる屋根形天蓋とが組み合わされている。いかにも藤原全盛期を象徴するようなお堂であり、仏像<sup>82</sup>である。

内壁には、雲中供養菩薩<sup>7</sup>(国宝)の群像が飾られている。琴を奏でる者、琵琶を弾く者、宝珠をもつ者……などさまざまな姿をした菩薩が52体。檜の一木造である。創建時は、漆地に華やかな彩色が施されていたという。

鳳凰堂の扉や板壁にはまた、九品来迎図<sup>18</sup>(国宝)が描かれている。今はかなり、剥落して、平等院ミュージアム鳳翔館に保存されているが、これは日本絵画史上重要な作品である。

平安末期の治承の乱や、建武3年(1336)の楠正成と足利尊氏の戦いなどの戦火によっておおかたの堂宇は灰となり、いまでは、鳳凰堂だけが創建時の遺構となった。鳳凰堂内部拝観は、庭園内受付にて時間券を購入する。

平等院鳳凰堂



鳳凰堂は昭和26年(1951)から10円硬貨デザインにも選ばれている。

### 宇治川の鶺鴒

「蜻蛉日記」等にも記述され、平安時代からという古い歴史をもつ宇治川の鶺鴒は、7月～9月の間、毎夕19時(9月18時半)、塔の島付近から出ている鶺鴒観覧船に合わせて行われる。夕焼けを川面に映し、宇治川に夕暮れが訪れる頃、かがり火に照らされた川面に和船を浮かべ、鶺鴒のあざやかな綱さばきを觀賞するという、宇治の夏の風物詩だ。風折鳥帽子上に黒い着物と腰裏という昔からのいたちの鶺鴒匠が、鶺鴒用の和舟に乗って登場。掲げられたかがり火がバチバチと音がするほどの勢いで情緒もたつぷり。船のすぐそばでの綱さばきのため、観覧船からも、「グエエ」という鳴き声も聞こえ、臨場感あふれる鶺鴒を満喫することができる。乗合船問い合わせは、0774-23-3353(宇治市観光協会)。



# 仏像初歩入門

P108 ~ 代表例を紹介

京都の寺社仏閣、博物館を訪ねれば、様々な形の仏像に出会うでしょう。先人が守り続けてきた、そして熱い思いが込められた仏像。迷ったあなたに何かを語りかけてくれるかもしれません。説話がありますが、基本的な種類や分類を記述いたします。

## 一般に信仰の対象としての仏像の四種類

- 如来 (によらい)**  
悟りを開いた者。仏陀ともいう。当初は釈迦如来だけだったが、後に仏教の教義が多様化し、多くの如来が考え出された。
- 菩薩 (ぼさつ)**  
如来に向けて、悟りを求めて修行している。
- 明王 (みょうおう)**  
如来の化身。修行者を煩惱から守り、教化する。
- 天 (てん)**  
仏界と仏法を守護する。元は古代インドの神々。

### 仏界の地位の順位

上位より如来、菩薩、明王、天とされる

#### その他、羅漢像と神像

仏像とは見なさないようだが、同じく信仰の対象となる像。  
**羅漢像**… 釈迦の弟子・修行者や宗派を興した、教えを広めた各宗派の祖師や高僧。修行者では十大弟子・十六羅漢・五百羅漢など。  
**神像 (垂迹像)**… 平安時代になると、日本古来の神や怨霊信仰と融合し、神仏習合の像がつけられた。

## 1.2. 主な如来の種類と菩薩

### 一、釈迦如来 (唯一の実存)

西暦紀元前、500年頃、インド北部の釈迦国に生まれた王子。生まれてすぐに天地を指差し、「天上天下唯我独尊」と叫んだとされる。29才で(19才とも)王位の継承を放棄して出家、35才で悟りを開き、仏陀、如来、釈尊、世尊、釈迦牟尼等と呼ばれるようになる。80才で死ぬまで説法を続けた仏教の開祖。

★如来像と2体の菩薩像が構成され、「三尊」と呼ばれる。一般的な釈迦如来の脇侍(=きょうじ、左右にいる仏)は、左に文殊、右に普賢菩薩。

**文殊菩薩 (もんじゅ)**… 三人寄れば文殊の智慧、釈迦の悟りを表す。

**普賢菩薩 (ふげん)**… 慈悲行を表す。女人成仏の仏として女性の信仰を集めた。白象に乗る姿が多い。



法金剛院阿弥陀如来坐像

### 二、阿弥陀如来

西方極楽浄土の教主で、死に臨み「南無阿弥陀仏」を唱えれば阿弥陀如来が迎えに来て極楽へ往生させてくれるという。(「南無阿弥陀仏の「南無」は「心から信じる、まかせ、従う」という意味。)

★阿弥陀如来の脇侍は、勢至と観世音菩薩。

**勢至菩薩 (せいし)**… 智慧の仏。髻を結び、宝冠の中に水瓶をつけていて中には智慧の盥水が入っている。

**観世音菩薩 (かんぜおん)**… 慈悲の仏。特徴として、頭にかぶった宝冠の中には阿弥陀如来の化仏があり、左手には未だ開いていない蓮の花(未敷蓮華)を持つ。

### 六観音、七観音

**聖観音 (しょうくわん)**… 各時代を通じて最も作例が多く、全ての観音の基本形態。

**十一面観音**… 頭上の11個の顔で全ての方向を見つめ、苦しんでいる人を救い出そうとしている。左手に紅蓮華を挿した水瓶を持ち、右手は施無畏印を結ぶ。後ろの一面は慕悪大笑面と呼ばれ、悪を威圧する。

**千手観音 (せんじゆ)**… 千の手と千の目を持つとされる。無限の慈悲で人間以外の生き物も救う。この仏も顔は十一面か二十七面あり、手は1000本あるものと42本のものがある。奈良の唐招提寺金堂の千手観音像は実際に953本の手が残っている。

**馬頭観音 (ばとう)**… 六道世界の内、畜生界救済にあたる菩薩とされる。頭上に白色の馬の頭が載っているのが見分けがつく。馬が草をむさぼるように人間の煩惱を食べ尽くすことから、人間の不浄な煩惱を断つ仏として信仰される。

**如意輪観音**… 2本か6本ある手には、思いのままに願い事を叶えてくれる宝珠や、煩惱を砕く法輪を持っている。菩薩には珍しく坐像が多い。

**不空索観音 (ふくうけんじやく)**… 大衆の煩惱を漏れなく羅索という縄を持って救済するという。不空とは、それが空しからず、叶うことを意味する。目が額にもある。

**准胝観音 (じゆんでい)**… 子宝に恵まれる力を持つという。真言宗六観音の一仏。

**その他、三十三観音。**  
楊柳観音、白衣観音、施薬観音、水月観音、岩戸観音、瑠璃観音など。

### 三、薬師如来

東方浄瑠璃界の教主で心身の病気を治し衣食を与えるという、現世利益の強い仏。左手に薬壺を持っており、阿弥陀の次に悟りを得た如来。

★薬師如来の脇侍は、左に日光菩薩と右に月光菩薩、十二神将を従えるものもある。

**日光菩薩**… 病根を除く。  
**月光菩薩**… 病根を除く。

**日光菩薩**… 苦熱を除く。

**十二神将**… 神将それぞれ7千、総計8万4千の部下を率いて薬師如来と信仰するものを守るという武神。十二支に対応する頭飾りを冠して全方位を守っている。



東寺金堂薬師如来像

### 四、大日如来 (だいにち)

密教(真言宗)の中心仏であり、宇宙の根源とされている仏。密教においては、あらゆる仏・菩薩もこの如来から生まれる法身仏とされる。ちなみに大日如来を中心に宇宙の構図と悟りの世界を示したものが曼荼羅といい、修法の大事な道具。大日如来はすべて坐像である。宗派的、形的には違うが、別名、毘盧遮那如来ともいう。

★大日如来の脇侍は、金剛界曼荼羅では大日如来を囲むのは阿シュク、宝生、阿弥陀、不空成就の4如来と金剛波羅密・宝波羅密・法波羅密・羯磨波羅密の4菩薩。阿弥陀如来や釈迦如来の三尊形式もある。

### その他の名高い菩薩や閻魔大王

#### 弥勒菩薩 (みろく)

釈迦が亡くなった日から数えて56億7000万年後、弥勒菩薩がこの世に現れ、世界を救うという。ポーズは半伽思惟といって、腰掛けて足を組み、手の指を頬に当て物思いに耽るものが多い。

#### 虚空蔵菩薩 (こくうぞう)

智慧と福德の菩薩。現世利益では記憶力を良くするという事が主である。技能や芸術の力もあり、職人や芸術家の守り本尊でもある。

#### 地藏菩薩 (じざい)

右手に錫杖、左手に宝珠が一般的。釈迦が亡くなってから弥勒菩薩が登場するまでの間、世界(つまり現代)を救済する為に現れた。地獄、餓鬼、畜生、修羅、人間、天上など六道の迷いの世界で活躍する六地藏の名前が有名。実は閻魔様の正体でもある(これは意外っ!)

#### 閻魔大王

死者の生前の行いを裁き、極楽行きと地獄行きのパスポートを発行する冥界の総司。仏教では地藏菩薩の化身で、再び罪をつくらせない為に恐ろしい顔で叱咤しているという。

## 3. 明王

如来の教えに従わない者を、調伏、救済するために、如来の命を受けて怒りの形相をしている。様々な武器を手しているのも特徴で、この持物により仏像を見分けることも可能だ。

### 五大明王

#### 1. 不動明王

明王の中の最高位。真言宗の大日如来の命を受けて、修行者を護る。大日如来の化身とも。光背は、燃え盛る火焰。右手に剣、左手に羅索(縄)を持っているのが一般的。坐像と立像がある。

#### 2. 降三世明王 (ごうざんぜ)

明王のナンバー2。過去、現在、未来の三世の煩惱を降伏させる。足でヒンズー教の神を踏みつけている。

#### 3. 軍荼利明王 (ぐんだり)

様々な障害を取り除く。体に蛇を巻きつけている例も多くある。中心の2本の腕を胸のあたりに交差する。

#### 4. 大威徳明王 (だいく)

悪の一切を降伏させる。顔が6面(目が3つ)、腕が6本、足が6本という異様な姿で水牛にまたがっている。

#### 5. 金剛夜叉明王 (こんごうやしや)

様々な悪を打ち砕くとされる。「金剛杵の威力をもつ夜叉」という意からこの名がついた。目は5個もある。夜叉とは善悪を併せ持つ武神のこと。

### 6. 烏枢沙摩明王 (うすさま)

天台系で金剛夜叉明王に替わる。世の一切の穢れと悪を焼き尽くすとされ、全身が火災で覆われている。禪宗では東司に多く祀られるトイレの仏様。

### 他の名高い明王

#### 愛染明王 (あいぜん)

恋愛を守り、叶えてくれる。愛欲を克服することによって悟りに至らせようとする明王。全身が愛欲の炎か、真っ赤である。

## 4. 天

如来・菩薩や仏法、そしてそれを信仰する人々を守る「護法善神」だったが、現世利益の信仰を持つようになった。もともとは、バラモン教やヒンドゥー教の神々であったが仏教に帰依したという。

#### 梵天 (ぼんてん)

バラモン教の最高神のひとつだが、釈迦に帰依し仏法の守護神となる。

#### 帝釈天 (たいしゃくてん)

映画「男はつらいよ」で馴染み。元々は英雄神インドラ。戦闘好きで酒好き淫乱といった人間味がある神で、衣の下に鎧を着込んでいる。梵天と釈迦如来の脇侍になることがある。

#### 金剛力士 (通称仁王・仁尊)

寺域及び伽藍の護衛役として金剛杵を握り、寺門の左右に筋骨隆々として立つ。口を大きく開くのが阿形像、口を結ぶのが吽形像。

#### 吉祥天 (きっしょうてん)

富と豊饒の天女。夫は毘沙門天で、唐の貴婦人の服装をした極彩色像が多い。

#### 弁才天 (べんざいてん)

弁天、弁財天、妙音天とも呼ばれる。衣食住や財宝など多くの幸せをもたらすと信仰される。七福神のなかの紅一点であり、美人の代表とされる。梵天、帝釈天の妃。

#### 鬼子母神 (きしもじん)

安産・子育ての守護神。元々インドの幼児食い悪神だったが釈迦が戒め改心させたという。姿は様々だが、天女型と鬼女型に大別される。

#### 大黒天

福祿倍増の神。左肩に袋を背負い、右手に打手の小槌を持ち、米俵の上に座って頭巾をかぶる。元々は、インドの戦闘神だったという。

#### 阿修羅 (あしゅら)

元々は鬼神であったが、釈迦に帰依し、仏法の守護神となる。忿怒裸形相や童子童女形がある。

#### 伎芸天

伎芸の才を持つ天女。

#### 四天王

四方を守る守護神で帝釈天に仕え、八部衆を支配する。甲冑をつけ、足元に邪鬼を踏みつけている像が大半。四天王とは持国天、増長天、広目天、多聞天。多聞天は、単独で祀られるときは毘沙門天となる。



東寺講堂梵天像

## 社寺国宝建造物（五十音順）※一部

※公開時期等が限られている建造物もある。

名称…参照頁			
<span> (例)</span> 姓名	時代	主な建築形式	
<b>宇治上神社…94</b>			
<span> </span> <span> </span> 拜殿	鎌倉	切妻造	
<span> </span> <span> </span> 本殿	平安	流造	
<b>延暦寺…61</b>			
<span> </span> <span> </span> 根本中堂	江戸	入母屋造	
<b>賀茂御祖神社（下鴨神社）…26</b>			
<span> </span> <span> </span> 東本殿・西本殿	江戸	三間社流造	
<b>賀茂別雷神社（上賀茂神社）…63</b>			
<span> </span> <span> </span> 権殿・本殿	江戸	三間社流造	
<b>教王護国寺（東寺）…12</b>			
<span> </span> <span> </span> 金堂	桃山	入母屋造	
<span> </span> <span> </span> 五重塔	江戸	三間五重塔婆	
<span> </span> <span> </span> 大師堂（西院御影堂）	室町	入母屋造	
<span> </span> <span> </span> 蓮花門	鎌倉	切妻造	
<b>観智院（教王護国寺塔頭）…12</b>			
<span> </span> <span> </span> 客殿	桃山	入母屋造	
<b>広隆寺…75</b>			
<span> </span> <span> </span> 桂宮院本堂	鎌倉	八角円堂	
<b>高山寺…85</b>			
<span> </span> <span> </span> 石水院（五所堂）	鎌倉	入母屋造	
<b>慈照寺（銀閣寺）…54</b>			
<span> </span> <span> </span> 銀閣	室町	宝形造	
<span> </span> <span> </span> 東求堂	室町	入母屋造	
<b>清水寺…40</b>			
<span> </span> <span> </span> 本堂	江戸	寄棟造	
<b>大徳寺…64</b>			
<span> </span> <span> </span> 方丈及び玄關	江戸	入母屋造	
<span> </span> <span> </span> 唐門	桃山	切妻造	
<b>大仙院（大徳寺塔頭）…64</b>			
<span> </span> <span> </span> 本堂	室町	入母屋造	
<b>大報恩寺（千本釈迦堂）…27</b>			
<span> </span> <span> </span> 本堂	鎌倉	入母屋造	
<b>醍醐寺（下醍醐）…90</b>			
<span> </span> <span> </span> 金堂	平安	入母屋造	
<span> </span> <span> </span> 五重塔	平安	三間五重塔婆	
<b>醍醐寺三宝院…90</b>			
<span> </span> <span> </span> 表書院（殿堂）	桃山	入母屋造	
<span> </span> <span> </span> 唐門	桃山	三間一戸平唐門	

## 寺院別仏像一覧（50音順）

寺院に伝わる仏像を寺院五十音順に列記しました。古い謂れを持つものがほとんどで、文化財となっているものも少なくありません。普段から公開され観光的な意味で名物になっているものもありますが、全て信仰の対象としての仏様であることをご注意ください。少人数でのお参りには、寺の行事が無い場合とか、ご案内の方がいる時など可能な日もあるようです。

<span> (例)</span> 寺院別仏像一覧（50音順）…参照
お堂など（○：常時公開、△限定公開）※太字は国宝備考
<b>化野念仏寺…80</b>
○：本尊阿弥陀如来像（湛慶作）
<b>禪林寺（永観堂）…52</b>
○阿弥陀堂（本堂）：木造阿弥陀如来立像（みかえり阿弥陀）（本尊）京都六阿弥陀仏の第二番札所
<b>延暦寺…61</b>
○横川中堂：本尊木造聖観音立像（慈覚大師作と伝わる）
○東塔の大講堂：本尊大日如来像 <p><i>比叡山で修行した各宗派の宗祖の木像(日蓮、道元、荣西、円珍、法然、親鸞、良忍、真盛、一遍)</i></p>
○東塔の文殊楼：本尊文殊菩薩像
○東塔の阿弥陀堂：本尊阿弥陀如来像

<b>醍醐寺（上醍醐）…90</b>			
<span> </span> <span> </span> 清滝宮拜殿	室町	入母屋造	
<span> </span> <span> </span> 薬師堂	平安	入母屋造	
<b>知恩院…46</b>			
<span> </span> <span> </span> 三門・本堂（御影堂）	江戸	入母屋造	
<b>東福寺…33</b>			
<span> </span> <span> </span> 三門	室町	入母屋造	
<b>龍吟庵（東福寺塔頭）…34</b>			
<span> </span> <span> </span> 方丈	室町	入母屋造	
<b>南禅寺…50</b>			
<span> </span> <span> </span> 方丈	桃山	入母屋造	
<b>二条城二の丸御殿…30</b>			
<span> </span> <span> </span> 遠待及び車寄・式台・大広間・蘇鉄之間・黒書院（小広間）・白書院（御座の間）	江戸	入母屋造	
<b>西本願寺…16</b>			
<span> </span> <span> </span> 阿弥陀堂	江戸	入母屋造	
<span> </span> <span> </span> 黒書院	江戸	寄棟造	
<span> </span> <span> </span> 御影堂	江戸	入母屋造	
<span> </span> <span> </span> 伝廊	江戸	兩下造	
<span> </span> <span> </span> 書院（対面所及び白書院）	江戸	入母屋造	
<span> </span> <span> </span> 唐門・飛雲閣・北能舞台	桃山	入母屋造	
<b>仁和寺…73</b>			
<span> </span> <span> </span> 金堂	桃山	入母屋造	
<b>平等院鳳凰堂…95</b>			
<span> </span> <span> </span> 両翼殿（北・南）	平安	宝形造	
<span> </span> <span> </span> 尾廊	平安	切妻造	
<span> </span> <span> </span> 中堂	平安	入母屋造	
<b>法界寺…92</b>			
<span> </span> <span> </span> 阿弥陀堂	鎌倉	宝形造	
<b>豊国神社…38</b>			
<span> </span> <span> </span> 唐門	桃山	入母屋造	
<b>北野天満宮…28</b>			
<span> </span> <span> </span> 本殿、石の間、拜殿及び釜の間	桃山	権現造	
<b>萬福寺…93</b>			
<span> </span> <span> </span> 大雄宝殿	江戸	入母屋造	
<span> </span> <span> </span> 天王殿	江戸	入母屋造	
<span> </span> <span> </span> 法堂	江戸	入母屋造	
<b>蓮華王院（三十三間堂）…36</b>			
<span> </span> <span> </span> 本堂	鎌倉	切妻造	
<b>八坂神社…45</b>			
<span> </span> <span> </span> 本殿	江戸	祇園造	

<b>愛宕念仏寺…80</b>
○本堂：本尊千手観音像 <p><i>地蔵堂にあたご本地仏「火除地蔵菩薩」、境内に1200体の石造羅漢像</i></p>
<b>戒光寺（丈六さん）…35</b>
○本堂：本尊釈迦如来立像（運慶・湛慶作） <p><i>昔は大きな仏像を「丈六」と呼んだ。身の丈5.4m、光背と台座を含め約10m。寄木造り。</i></p>
<b>勤修寺…89</b>
○：本尊千手観音立像 <p><i>醍醐天皇の等身像と伝え、現存の像は室町時代頃の作</i></p>
<b>清水寺…40</b>
○阿弥陀堂：本尊木造阿弥陀如来坐像 <p><i>京都六阿弥陀仏の第三番札所</i></p>
○釈迦堂：本尊木造釈迦如来坐像、釈迦如来脇侍（木造普賢・文殊菩薩坐像）
○善光寺堂：木造如意輪観世音菩薩坐像 <p><i>洛陽三十三観音の第十番札所</i></p>

<b>鹿苑寺（金閣寺）…68</b>
○不動堂（堂外より）：木造不動明王立像（西園寺護摩堂旧本尊）
<b>鞍馬寺…62</b>
△靈宝殿：一木造毘沙門天立像、木造吉祥天立像、木造善膩師童子立像、木造仁王像2軀、木造兜跋毘沙門天立像、木造聖観音菩薩立像 <p><i>3/1～12/11公開。</i></p>
<b>建仁寺…42</b>
○法堂：本尊釈迦如来坐像、脇侍迦葉尊者・阿難尊者
○大方丈：本尊十一面観音菩薩像 <p><i>東福門院の寄進</i></p>
<b>高山寺（桐尾）…85</b>
○石水院：鳥獣戯画写し、明恵上人樹上坐禅像写し、善財童子など展示
<b>広隆寺…75</b>
○新靈宝殿：弥勒菩薩半跏思惟像（宝冠弥勒）、弥勒菩薩半跏思惟像（泣き弥勒）、阿弥陀如来坐像、不空絹索観音立像、千手観音立像、木造十二神将立像、他重文等多数 <p><i>そのほとんどが木造の仏像。赤松の一木彫の宝冠弥勒は国宝第一号。太子殿の聖徳太子立像は11/22(誕生日)に開扉</i></p>
○講堂：木造虚空蔵菩薩坐像、木造地藏菩薩坐像
<b>金戒光明寺（黒谷さん）…53</b>
△：木造千手観音立像（吉備観音） <p><i>FAX申込(075-771-0836)。もとは吉備真備が吉田寺に安置したものと。</i></p>
<b>西明寺…85</b>
○本堂厨子内：木造釈迦如来立像（運慶作）、木造千手観音立像、愛染明王像 <p><i>本尊は清涼寺式の立像。使った倍のお金が返ってくるお守りがある</i></p>
<b>蓮華王院（三十三間堂）…36</b>
○：中尊木造千手観音坐像（湛慶作）、木造二十八部衆立像、木造風神・雷神像、木造十一面千手千眼観世音菩薩立像 1001 軀（内 124 体現存、他は鎌倉時代の補作）
<b>三千院…59</b>
○往生極楽院:木造阿弥陀如来坐像及び両脇侍（勢至・観音菩薩坐像）（伝・源信作） <p><i>三尊が西方極楽浄土から迎えに来る姿で、両脇侍は正座をしている(大和坐り)。</i></p>
○金色不動堂：木造金色不動明王立像（伝・智證大師作）
○宸殿：木造救世観音半跏像、毘沙門天立像、阿弥陀三尊立像、如意輪観音立像
<b>地藏院（竹の寺）…83</b>
○本堂（地藏堂）：本尊木造地藏菩薩（谷の地藏、伝・最澄作） <p><i>左右に夢窓国師とその高弟・宗鏡禅師、細川頼之の木像を安置</i></p>
<b>相国寺…23</b>
○承天閣美術館：釈迦如来坐像など仏像収蔵、展示未定 <p><i>金閣寺の大書院を再現し、そこに伊藤若冲の「葡萄園図」「芭蕉図」を復元</i></p>
△法堂（仏殿）：本尊釈迦如来像（伝・運慶作） <p><i>天井の蟠龍図は狩野光信筆（鳴き龍）。春秋に特別公開。</i></p>
<b>勝林院…59</b>
○本堂他：木造法然上人像、踏出阿弥陀如来像（本尊・丈六）（脇侍に不動明王・毘沙門天立像）、普賢菩薩像、木造十一面観音菩薩
<b>神護寺…84</b>
△：木造薬師如来立像（本尊）、木造五大虚空蔵菩薩（多宝塔）、乾漆造薬師如来坐像、木造愛染明王坐像、板彫弘法大師像、木造毘沙門天立像（毘沙門堂）、木造日光・月光菩薩立像、他 <p><i>金堂本尊木造薬師如来像のみ常時公開。国宝五大虚空蔵菩薩は予約制。他は非公開(虫払い(5月)に展観)</i></p>
<b>真正極楽寺（真如堂）…53</b>
△本堂（11/15 ご開帳）：木造阿弥陀如来立像（うなづきの弥陀） <p><i>長野の善光寺、京都の清涼寺、真如堂の阿弥陀如来を日本三如来という。京都六阿弥陀仏の第一番札所</i></p>

<b>清涼寺（嵯峨釈迦堂）…81</b>
△靈宝館：阿弥陀三尊坐像（脇侍は観音・勢至両菩薩像）、本尊釈迦如来立像（複製）、木造兜跋毘沙門天立像、木造十大弟子立像、木造文殊菩薩騎獅像、木造四天王立像 4 軀、木造帝釈天騎象像、普賢菩薩騎象像 <p><i>4・5・10・11月に開館。本尊はインド、中国、日本と三国伝来の釈迦如来(清涼寺式釈迦像)。阿弥陀三尊像は源融がモデルという</i></p>
<b>泉涌寺…35</b>
△心照殿（宝物館）： <p><i>泉涌寺および塔頭寺院所蔵の文化財を順次公開</i></p>
○仏殿：過去・現在・来世を表する三世如来像（釈迦・弥陀・弥勒）（本尊）（伝・運慶作） <p><i>長方形の天井の龍の図。本尊背後の白衣観音図は狩野探幽作</i></p>
○楊貴妃観音堂：本尊木造観音菩薩坐像 <p><i>本尊(等身大)は楊貴妃観音と呼ばれ、脇侍に羅漢像を安置</i></p>
<b>引接寺（千本閻魔堂）…27</b>
△本堂：本尊閻魔法王坐像、両脇に司命像・司録像（定勢作、長享2年（1488）） <p><i>毎月16日開扉</i></p>
<b>大報恩寺（千本釈迦堂）…27</b>
○靈宝館：木造釈迦如来坐像（行快作）、一木造十大弟子立像（快慶作）、木造千手観音立像（伝・菅原道真作）、木造六観音菩薩像（定慶作）、銅造釈迦誕生仏立像、木造地藏菩薩立像（伝・定慶作） <p><i>他におかめ像。</i></p>
<b>即成院（東福寺塔頭）…33</b>
○本堂：木造阿弥陀如来坐像、木造二十五菩薩坐像（本尊） <p><i>定朝とその弟子の作。15軀は江戸時代の補作。那須と市の墓と伝えられる約3mの石造宝塔がある</i></p>
<b>大覚寺…82</b>
△収蔵庫安置：本尊五大明王像（大威徳・軍荼利・金剛夜叉・降三世各明王立像、不動明王坐像、全て木造で明円作）、木造大威徳明王騎牛像、木造軍荼利明王立像（全て秘仏） <p><i>特別公開あり。</i></p>
○五大堂（本堂）：五大明王像（金剛夜叉・降三世・不動・軍荼利・大威徳） <p><i>昭和50年松久朋琳、宗琳仏師の合作</i></p>
<b>醍醐寺…90</b>
△靈宝館・宝聚院：木造薬師如来及両脇侍像（旧上醍醐薬師堂安置）（平成館内陣）、木造阿弥陀如来坐像、木造聖観音立像、木造如意輪観音坐像、木造不動明王坐像（快慶作、1192年）、木造地藏菩薩立像、木造帝釈天騎象像、木造吉祥天立像、木造閻魔天像など。 <p><i>春秋開館。国宝薬師如来は開館時公開、重文各像は順次公開</i></p>
○金堂：木造薬師如来及両脇侍像（日光・月光菩薩）、四天王立像
○西大門（仁王門）には木造金剛力士立像（仁王像）
<b>教王護国寺（東寺）…12</b>
△宝物館:木造兜跋毘沙門天立像（元羅城門楼上）、木造千手観音立像（旧食堂）、他 <p><i>日本最古の本格的な密教彫像。3/20～5/25・9/20～11/25開館。</i></p>
○金堂：木造薬師三尊像（本尊薬師如来坐像、日光・月光菩薩立像）、十二神将像 <p><i>慶長8年(1603)、仏師康正の作といわれている。</i></p>
○講堂：木造五大菩薩坐像、木造五大明王像、木造梵天・帝釈天像、木造四天王立像、五智如来（木造大日如来坐像、附・金剛界四仏坐像） <p><i>15軀は国宝、5軀は重文。計21軀の密教彫像が所狭しと安置されている。帝釈天半跏騎象像は、仏像界一の美男子といわれる。</i></p>
<b>等持院…69</b>
○靈光殿：地藏尊（本尊、伝・空海作）、足利歴代の將軍像、徳川家康像
<b>同聚院（東福寺塔頭）…33</b>
○：木造不動明王坐像（伝・康尚作） <p><i>忿怒相の中にも優美さをたたえた藤原美術の代表彫刻。法性寺五大堂に安置されていた五大明王の中尊という</i></p>

### テーマ別物件ガイド（寺院別仏像一覧）

名称	電話番号 市外局番(075) 所在地・交通(最寄)	時間・所要分・休み	料金ほか (大(大学生)・高(高校生)・中(中学生)・小(小学生))	本文頁 地図頁
化野念仏寺 (あだし)	861-2221 右京区嵯峨鳥居本化野町17 京都バス / 鳥居本	9時～16時半(12～2月は～15時半) 所要20分 積雪等の場合休みあり	一般500・高中400円・小無料(保護者同伴に限る)	80 94
嵐山モンキーパーク いわたやま	872-0950 西京区嵐山元鏡山町8 阪急電車・嵐電 / 嵐山駅 市バス・京都バス / 嵐山公園	9時～16時半(入場は30分前) 所要60分 不定休(悪天候による休園あり)	高校生以上600・中以下(4歳以上)300円	82 985
安楽寺 (あんらくじ)	771-5360 左京区鹿ヶ谷御所/段町21 市バス / 錦林車庫前	10時～16時 所要40分 特別公開日のみ	一般500円・中以下無料 鹿ヶ谷かぼちゃ供養は1000円 特別公開は4月上旬の土日(桜)・5月初旬5月上旬の土日祝(ツツジ)・5月下旬～6月初旬の土日(さつき)、7月25日(鹿ヶ谷カボチャ供養)、11月上旬の土日(もみじ)	53 7D1
今宮神社 (いまみや)	491-0082 北区紫野今宮町21 市バス / 今宮神社前 市バス / 船岡山	9時～17時(社務所)	参拝自由	65 8B5
岩倉貞観幽樓旧宅・ 対岳文庫 (いわくらちともゆうせい)	781-7984 左京区岩倉上蔵町100 京都バス / 岩倉実相院	現在事前予約制 9時～17時(入場～16時半) 所要20分 水曜休(祝日の場合翌日)・年末年始休	一般400・高中200・小100円 ※ただし、11月中下旬頃は一般500円	58 8B2
引接寺(千本えんま堂) (いんじょうじ)	462-3332 上京区千本通嵐山寺上ル閣魔前町34 市バス / 乾隆校前	9時半～16時※拝観開始時間あり 所要20分 無休	無料(本殿昇殿は500円)	27 9D1
宇治上神社 (うじがみ)	0774-21-4634 宇治市宇治山田59 JR・京阪電鉄 / 宇治駅	9時～16時 20分(授与所) 所要10分 無休	参拝自由	94 10D5
宇治市源氏物語 ミュージアム	0774-39-9300 宇治市宇治東内45-26 JR・京阪電鉄 / 宇治駅	9時～17時(入館～16時半) 所要30分 月曜休(祝日の場合翌日)・年末年始休	高校生以上600・中小300円	94 10D5
梅宮大社 (うめのみや)	861-2730 右京区梅津フケノ川町30 市バス / 梅宮大社前	神苑は9時～17時(入苑～16時半) 所要20分	参拝自由 神苑は高校生以上600・中小400円	83 9D3
雲龍院(泉涌寺塔頭) (うんりゅういん)	541-3916 東山区泉涌寺山内町36 市バス / 泉涌寺道 JR・京阪電鉄 / 東福寺駅	9時～17時(受付は～16時半) 所要20分 水曜休※但し11月を除く	400円	35 7D5
永観堂(禅林寺) (えいかんどう)	761-0007 左京区永観堂町48 市バス / 南禅寺・永観堂道・東天王町	9時～17時(受付～16時) 秋の寺宝展期間中は異なる 所要30分	大人600・高中小400円(画仙堂、庫裏、浴室、永観堂会館は除く)※寺宝展期間は異なる	52 7D2
圓光寺 (えんこうじ)	781-8025 左京区一乗寺小谷町13 市・京都バス / 一乗寺下り松町	9時～17時 所要30分 年末休	一般800・高中小500円※秋の特別拝観は異なる	57 8D5
円通寺 (えんつうじ)	781-1875 左京区岩倉幡枝町389 京都バス / 西幡枝(円通寺前)、幡枝くさすの公園前	10時～16時半(12～3月は～16時)受付は30分前 所要20分 水曜日・12月末3日間(不定)・特別法要日	高校生以上500(団体は事前申込)・中小300円(小は要大人同伴) 30名以上の団体は要事前申込み	58 8A3
圓徳院(高台寺塔頭) (えんとくいん)	525-0101 東山区高台下河原町530 市・京阪バス / 東山安井	10時～17時(閉門は17時半) 所要30分	大人500・高中200円	44 7D3
厭離庵 (えんりあん)	861-2508 右京区嵯峨二尊院門前善光寺山町2 市バス / 嵯峨釈迦堂前	9時～16時 所要20分	11月1日～12月7日のみ拝観 志納(500円位) それ以外は電話予約による申込みのみ	81 9A4
延暦寺 (えんりゃくじ)	077-578-0001 滋賀県大津市本町4220 京都・京阪バス / 延暦寺バスセンター	東塔は9時～16時 西塔・横川は9時～16時(12～2月は9時半～16時) 受付は15分前 所要60分	大人1000・高中600・小300円(国宝殿は別途大人500・高中300・小100円)	61 8D3
黄梅院(大徳寺塔頭) (おうはいいん)	231-7015 (京都春秋事務局) 北区紫野大徳寺町 市バス / 大徳寺前	10時～16時(受付終了) 所要30分	春秋の特別公開のみ 一般800・高中400円・小以下無料(大人同伴)	65 8B5
大河内山荘 (おほこうち)	872-2233 右京区嵯峨小倉山田湖山町8 市・京都バス / 野々宮	9時～17時(受付は30分前) 所要40分	高校生以上1000・中小500円	81 9A5
大田神社 (おおた)	075-781-0907 北区上賀茂本山340 市バス / 上賀茂神社前	9時～16時半 所要15分	境内自由 カキソバ育苗協力金(開花時)300円	63 8C4
愛宕念仏寺 (あたぎ)	285-1549 右京区嵯峨鳥居本深谷町2-5 京都バス / 愛宕寺前	9時～16時 15分 所要20分	高校生以上500円・中小無料	80 9A3
ガーデン ミュージアム比叡	707-7733 左京区修学院尺羅ヶ谷四明ヶ嶽4 叡山ケーブル・ロープウェイ / 比叡山頂駅	10時～17時半(入園は～17時、季節により異なる) 所要100分 木曜日・12月初旬から4月中旬の冬季	中学生以上1200・小600円(季節により異なる)	61 8C3
戒光寺 (かいこうじ)	561-5209 東山区泉涌寺山内町29 JR・京阪電鉄 / 東福寺駅 市バス / 泉涌寺道	9時～17時	無料 10名以上は要予約(内陣特別拝観は春・秋のみ、500円)	35 7D5
蚕の社 (木島坐天熊御魂神社) (かいのやしろ)	861-2074 右京区太秦森ヶ町50 嵐電 / 蚕の社駅 市・京都バス / 蚕の社 地下鉄東西線 / 太秦天神川駅	自由拝観 所要15分	参拝無料	76 9B3
勤修寺 (かじゅうじ)	571-0048 山科区勤修寺仁王堂町27-6 地下鉄東西線 / 小野駅	9時～16時 所要20分	高校生以上500・中小300円(庭園拝観のみ)	89 10A3

名称	電話番号(075) 所在地・交通(最寄)	時間・所要分・休み	料金ほか 《専用駐車有無・料金》	本文頁 地図頁
上賀茂神社 (かみかも)	781-0011 北区上賀茂本山339 市バス / 上賀茂神社前、上賀茂御園橋	境内(楼門・授与所)は8時～16時45分(祭典により異なる) 所要30分	参拝自由 「国宝・本殿特別拝拝とご神宝の拝観」は、大人500円・中以下無料(家族同伴者要)、10時～16時(饗祭・年末年始休)	63 8B4
漢検 漢字博物館・ 図書館 (漢字ミュージアム) (かんけん)	757-8686 東山区祇園町南側551 市・京阪バス / 祇園	9時半～17時(入館～16時半) 所要30分 月曜(祝日の場合翌日)・年末年始休 ※時期により異なる場合あり(HP参照)	一般800・大高500・中小300円(修学旅行生は2名以上は100円引き)	46 7D3
祇王寺(大覚寺塔頭) (ぎおうじ)	861-3574 右京区嵯峨鳥居本小坂町32 市・京都バス / 嵯峨釈迦堂前	9時～16時50分(受付は～16時半) 所要15分	一般300・高校生以下100円(大覚寺との共通券あり、大人券のみ)	79 9A4
北野天満宮 (きたのてまんぐう)	461-0005 上京区馬喰町 市バス / 北野天満宮前	7時～17時 社務所は9時～16時半(宝物殿は9時～16時) 所要30分	境内は参拝自由(観梅・青もみじ・紅葉シーズンは有料エリアあり) 宝物殿特別拝観は一般1000・高中500・小と修放生250円、公開日時はHP参照)	28 9D1
貴船神社 (きふね)	741-2016 左京区鞍馬貴船町180 京都バス / 貴船 叡山電鉄 / 貴船口	6時～20時(12/1～4/30は～18時、行事等により変更あり)社務所は9時～17時 所要20分	参拝自由	62 6C1
旧三井家下鴨別邸 (きゅうみついかげしもべてい)	366-4321 左京区下鴨宮河町58-2 市バス / 榮橋西詰、出柳駅前	9時～17時(受付は～16時半) 所要20分 水曜(祝日の場合翌日)・年末休	一般500・高中300・小200円 ※一般は土日祝日は600円	26 6C2
京都国際 マンガミュージアム	254-7414 中京区烏丸通御池上ル金吹町452 地下鉄 / 烏丸御池駅 市・京都バス / 烏丸御池	10時半～17時(受付は30分前) 所要30分 水曜(祝日の場合翌日)・年末年始・メンテナンス期間休	大人1200・高中400・小200円、特別展は別料金	22 7B3
京都国立 近代美術館	761-4111 左京区岡崎円勝寺町26-1 市バス / 岡崎公園 美術館・平安神宮前 地下鉄 / 東山駅	10時～18時(受付は30分前まで、企画展開催中の金曜は夜間開館あり) 所要30分 月曜(祝日の場合翌日)・年末年始・展示替期間休	一般430・大130円・高校生以下無料(コレクション・ギャラリー)、企画展は展示により異なる	48 7C2
京都国立博物館	525-2473 東山区茶屋町527 市バス / 博物館三十三間堂前 京阪電鉄 / 七条駅	9時半～17時(金曜は夜間開館あり) 入館は閉館の30分前まで 所要60分 月曜(祝日の場合翌日)・年末年始休	名品ギャラリー(平常展示)は一般700・大学生350円・高校生以下無料 ※特別展は異なる。特別展の前後期間のみ庭園や名品ギャラリー(平常展示)は見学できる。HP確認。	38 7C4
京都市 京セラ美術館	771-4334 左京区岡崎公園内市バス / 岡崎公園 美術館・平安神宮前 地下鉄 / 東山駅	10時～18時(最終入館は展示により異なる) 所要30分 月曜(祝日の場合開館)・年末年始休	コレクションルーム:一般730・高校生以下300円※特別展は異なる。	48 7C2
京都市考古資料館	432-3245 上京区今出川通大宮東入ル元伊佐町265-1 市バス / 今出川大宮、市バス / 堀川今出川	9時～17時(入館は～16時半まで) 所要20分 月曜(祝日の場合翌日)・年末年始休	無料	29 7A1
京都市歴史資料館	241-4312 上京区寺町通荒神口下ル松蔭町138-1 市バス / 河原町丸太町	9時～17時 所要20分 月曜・祝日・年末年始・展示替期間休	無料	24 7B2
京都水族館	354-3130 京都市下京区観喜寺町(梅小路公園内) 市バス / 七条大宮・京都水族館前 JR / 梅小路京都西駅	日により異なる 所要120分 年中無休(臨時休業あり)	一般2400・高1800・中小1200・幼児800円	17 7A5
京都大学 総合博物館	753-3272 左京区吉田本町市バス / 百万屋	9時半～16時半(入館は～16時) 所要20分 月曜・火曜・年末年始・6/18・8月第3水休	一般400・大学生300・高校生以下無料	52 7C1
京都タワー	361-3215 下京区烏丸通七条下ル東塩小路町721-1 京都駅前	10時～21時(受付は30分前、土日祝及び季節により変更あり) 所要30分	一般900・高700・中小600・幼児200円	17 7B5
京都鉄道博物館	0570-080-462 下京区観喜寺町市バス / 梅小路公園前、梅小路公園・京都鉄道博物館前、JR / 梅小路京都西駅	10時～17時(入館～16時半) 所要120分 水曜(祝日・春夏休みは開館)・年末年始休	一般1500・大高1300・中小500・幼児200円 SLスチーム号乗車料金は高校生以上300・中以下100円	16 7A5
京都府京都 文化博物館(本館)	222-0888 中京区三条高倉市・京都バス / 堺町御池 地下鉄 / 烏丸御池駅・四条駅	総合展10時～19時半(特別展は～18時、金曜のみ～19時半) 入場は30分前まで 所要30分 月曜(祝日の場合翌日)・年末年始休	総合展:一般500・大400円・高校生以下無料 特別展:展覧会により異なる	22 7B3
京都霊山護国神社 (りょうぜんこくじ)	561-7124 東山区清閑寺霊山町市・京阪バス / 東山安井	8時～17時(入山は9時～) 所要30分	高校生以上300・中小200円	43 7D3
清水寺 (しみずでら)	551-1234 東山区清水1丁目294 市・京阪バス / 五条坂、清水道	6時～18時(季節により変更あり、春夏秋の夜間拝観は～21時) 所要40分	高校生以上400・中小200円	40 7D4
成就院(清水寺塔頭) (じょうじゆいん)	551-1234 (清水寺) 東山区清水1丁目294 市・京阪バス / 五条坂、清水道	9時～16時 所要30分	特別公開のみ(5月・11月頃に特別公開) 高校生以上600・中小300円(清水寺入山料別途)	41 7D4
ギルドハウス京菓子 (京菓子資料館)	432-3101 上京区烏丸通上立売上ル柳園子町 地下鉄 / 今出川駅 市バス / 烏丸今出川(地下鉄今出川駅)	10時～17時(入館は16時まで) 所要20分 水曜・木曜・年末年始・展示替え期間	常設展示700円(呈茶を含む)	24 7A1
金閣寺(鹿苑寺) (金閣寺山外塔頭)	461-0013 北区金閣寺町1市バス / 金閣寺道	9時～17時(特別拝観時は異なる) 所要30分	高校生以上500・中小300円(特別拝観時は異なる)	68 9C1
銀閣寺(慈照寺) (相国寺山外塔頭)	771-5725 左京区銀閣寺町2市バス / 銀閣寺前・銀閣寺道 京都バス / 銀閣寺道	8時半～17時(12月～2月末日は9時～16時半) 所要30分	高校生以上500・中小300円	54 7D1
鞍馬寺 (くらまでら)	741-2003 左京区鞍馬本町1074 京都バス / 鞍馬 叡山電鉄 / 鞍馬駅	9時～16時15分(霊宝殿は9時～16時) 所要90分 無休 ※霊宝殿は火曜(祝日の場合翌日)・12月12日～2月末日休	(愛山費)高校生以上500円・中小無料(霊宝殿は高校生以上200・中小100円)	62 6C1

本書は、小社のロングセラーとして多くの読者からご好評をいただいていた『京都散策案内』（横浜国立大学名誉教授・木下長宏・著）等をベースに、京都を学ぶための豊富な資料を加え、より使いやすく再編集したものです。編集にあたっては、旧版の特長であった美術・歴史案内としての視点を生かした解説とともに、紹介物件にまつわる歴史上の人物、出来事、行祭事などを新たに盛り込み、巻末に社寺文化施設一覧と、書き込みできる公共交通機関・タクシー利用のワークシートを加え、より便利で学びやすいガイドを目指しました。

この冊子が、悠久の歴史と文化を愛でる京都ファンの一助となり、古都散策に少しでも趣をそえることになれば、望外の喜びです。

最後になりましたが、本書編集にあたり資料・写真提供等にご協力いただきました多くの皆様方に、この場を借りて心からの謝意を表します。

本誌は 2024 年 12 月現在判明分の資料に基づき編集した最新版です。

**京都修学旅行事前学習ガイド**

**京都社寺案内**

**散策&観賞 京都編 最新版** 定価 660 円（本体 600 円+税 10%）

2025 年 3 月 1 日 第 1 版第 1 刷

編 著 者／木下長宏、ユニプラン編集部

編集協力・編集制作室ヴァーク

発 行 人／橋本良郎

発 行 所／株式会社ユニプラン

〒 601-8213 京都市南区久世中久世町 1 丁目 76

TEL. (075) 934-0003

FAX. (075) 934-9990

振替口座 01030-3-23387

<http://www.uni-plan.co.jp>

印 刷 所／東京カラー印刷株式会社

ISBN978-4-89704-618-1 C2026